

第3回中部放射線医療技術学会 CT-MR 合同研究会

テーマ「CT・MRIの新技术と使用経験」

会場：鈴鹿医療科学大学千代崎キャンパス

日時：11月20日（土）午前9時30分～午前11時00分

中部部会CT研究会・MR研究会では第3回中部放射線医療技術学会にあわせて「CT・MRIの新技术と使用経験」をテーマに合同研究会を開催します。CT、MRでは多くの新技术が開発され、臨床で利用されています。我々が臨床でそれらの技術を活用するためには、詳細な特性を知っている必要があります。また、他のモダリティについての知識も必要でしょう。今回の合同研究会では、それらの新技术の詳細を解説していただき、その臨床利用の実態について報告していただきます。

■CT研究会「Dual Energy CT、Virtual Monochromatic Imagingについて」

CTにおける新技术としてDual Energy CTやVirtual Monochromatic Imagingがあります。この手法の技術的な工夫、それを利用したVirtual Monochromatic Imagingについて講演していただきます。臨床での活用法、現状の問題点についても使用施設に講演していただきます。

(1)「Dual Energy Scanning GSI (Gemstone Spectral Imaging)の技術紹介」

GEヘルスケア・ジャパン CTセールス&マーケティング部 宮崎 真利

(2)「Dual Energy Scanning GSI (Gemstone Spectral Imaging)の使用経験」

市立四日市病院 放射線部

高橋 康方

■MR研究会「超高磁場MRIにおけるRF技術」

全身用3TMRI装置は、全国に普及し稼働台数も増えてきている。また世界的には7TMRI装置やさらに高磁場の装置も研究されていると聞く。MRI装置は高磁場化へと進みつつあるが熱吸収比（specific absorption rate；SAR）の増加など問題点も存在する。その解決方法の一つとして最新のRF技術について今回講演していただきます。